

「身近なものから見る世界」

フェアトレードや国際協力、環境問題、まちづくりに関心はありませんか？フェアトレードはお買い物からできる国際協力です。また、環境にもやさしい活動理念を持っています。NGO やフェアトレードの活動を「商品を手にとったり、現地のような写真を写したスライドを見たり」、多面的に理解を図ります。参加者同士の気付きを引き出すワークショップ形式で身近なとらえ方ができます。

通して受講も、1 回ごとの受講も可能です。締切りは毎回講座日の 1 週間前ですが、その後も空きがあれば受け付けます。各回定員 20 名、受講料 500 円/回 予約申込み先は下記へ。



回	日程.会場	講座タイトルと内容	講師
1	10月11日(日) 各回とも 13:30~16:00 オゾン2階	植林と暮らしから見た東ティモールの変化 2002年に独立した東ティモール。国連統治、内戦、選挙などの変化と共に暮らしのありようがどう変化して来たのかを報告、共有します。日本の私たちとも関係しています。	田口裕晃（名古屋 NGO センター） 葛谷知里(金城学院大)
2	11月8日(日) オゾン2階	装いとフェアトレードの関係 装いという切り口から、フェアトレードの世界を紹介し、その魅力を伝えます。フェアトレードの服作りがネパールの生産者に与える意味について横浜の講師と一緒に話合しましょう。	高橋ゆりか(横浜のネパールフェアトレード専門店ネパリバザーロ)
3	12月13日(日) オゾン2階	フェアトレードを味わおう！ フェアトレードの食品は、安全性はもちろん、そのおいしさにもこだわりがあります。カンボジアでの有機栽培コショウを開発した日本人の物語です。味わいながらの学習です。	倉田由紀 ((株)クラタペッパー)
4	1月17日(日) オゾン2階	ネパール震災救援で私が見たもの 2015年4月の大地震は大きく報道され、日本からも NGO、個人を問わず救援活動が行われました。活動報告と支援活動のエピソードの中から私たちの生活に役立つ知識を話合います。	キラン・サイジュ (ネパール料理店ミヤギディ) 後藤康文(ネパールトレッカー)

主催及び問合せ先:NPO 法人地域国際活動研究センター (担当者 杉本,)
 電話兼ファクス 052-935-7126 メール sugimoto@aift.jp <http://cdic.aift.jp/>
 〒461-0022 名古屋市東区東大曾根町 40 番 6 号 11 時~18 時 (火水日祝休み)
 会場フェアトレードショップオゾン (住所は上記と同じ、JR 中央線大曾根駅南口下車西へ 100m3 階建ビル)
[http:// aift.jp/](http://aift.jp/)